

通訳案内士試験道場韓国語で学ぶ日本⑤京都解答例

京都—天皇と貴族と舞妓の町

- ①官女たちの気をひく（誘う、アプローチする）ときも、まずはこの上なくせつない男女間の想いを表す短歌を贈った。
- ②恋愛の遍歴など想像すらできぬほど困窮した生活からのがれ、田舎にこもって浮世から離れ（逃れ）たいという厭世的な作品
- ③カゲロウのようなはかない人生や「驕れる者も久しからず」的な貴族や武士の栄枯盛衰をテーマとした退廃的な作品など、そのテーマは深く尽きない。
- ④侘びしい趣が涼しい秋の入口に差し掛かった季節にふさわしいかもしれない。
- ⑤正月には一人が歌の上の句を詠み、その他の人たちは下の句が書かれた札をとるカードゲーム
- ⑥当たらずといえども遠からずだ。
- ⑦風水地理的に最高の場所である御所は歴代の天皇が宮殿として使ったところではあるが、代々骨肉相争う舞台にもなった。
- ⑧即位の礼や將軍たちが天皇に謁見するとき
- ⑨慶福宮のシンボルカラーの丹青模様
- ⑩ 控え目（地味）な簡素さという特徴
- ⑪電柱などは一切ない石畳の道を、着物姿の舞妓が歩く姿は実にあでやかだ。
- ⑫ふっくら、またはほっそりした顔にはもちろん、襟足（うなじ）にまでおしろいをぬった、清楚でしとやかな彼女らは撫子の花にもたとえられる。
- ⑬大盤振る舞いで（大枚をはたいて）一席設けるときに彼女らを呼んで豪遊し、
- ⑭変身願望を満たすため
- ⑮古みを帯びた美しさ
- ⑯「ピリオド」ではなく「コンマ」

京都流コミュニケーション

- ①言いたいことがあればいわないと分かってもらえないというコミュニケーションの仕方は通用せず、相手の気持ちを察しようとする心が必要なのだ。
- ②借りてきた猫のように本音を言わないことがキーポイントだ。
- ③異なる意見に対してきっぱりと主張すると相手もメンツを失うこともあるから、
- ④ご飯の上に海苔や佃煮、焼き鮭などを載せ、緑茶をかけた家庭料理で、韓国のスンニ

ユンのようなものだ。

⑤一席設ける際、「高嶺の花」と思っていた芸妓が愛嬌をふりまいているからといって

⑥空気を読んで

⑦それとなく顔をしかめて「変な人もいたものね」

⑧ ^{ゴダブリュイチエイチ}5 W 1 H はタブーなのだ。

⑨訳が分からないとか、皮肉に聞こえるとかいう人たち

⑩戦乱に敗れた天皇を島流しにしたり、権力を握った将軍が天皇の首をすげかえたり、下級貴族が藤原氏に足を引っ張られ、痛くもない腹を探られて地方に左遷されたりするなど、

⑪口は災いのもと/下手なことを口にするな

⑫故事成語でいえば「和して同ぜず」

京都お寺巡り

①四捨五入すると約二千の神社仏閣があるということになる。

②観光客たちがカシャカシャ写真を撮る寺が、黄金色に輝く姿をほこる三階建の迎賓館の金閣だ。

③賛辞を惜しまなかったといい、国威発揚の意味もあった。

④自由に出入りできる。

⑤思い切って決断すること

⑥清水をのものと列に並ぶ観光客

⑦安産を願う人たち

⑧切っても切れない縁

⑨湯水のように金を使い贅沢三昧だった将軍たちも困窮し

⑩黒い岩と白い砂だけを組み合わせる立体的に山水を表した簡素な庭園様式

⑪「土足禁止」

⑫袈裟を身に着け、手に数珠をかけた住職が、靴を一足ずつ下駄箱にそろえていれておくようにおっしゃった。

⑬自分に厳しい禅の精神

⑭川の水がくねくね流れる様子を模した砂地に人手が加わらない自然そのままの岩が、まるで飛び石のように横切っている。

⑮ひっそりと流れる川のように、見ているだけで悟りそうな雰囲気

⑯チャンバラ（果たし合いや大立ち回り）など、時代劇のロケによく使われる撮影スタ

ジオ

- ⑰進んだ養蚕技術
- ⑱からむしで機織りをする技術
- ⑲信ぴょう性に乏しいという人もいるが、京都は多かれ少なかれ彼らの影響を受けて
- ⑳カイコを祭る神社
- ㉑まるで瓜二つの姿かたち
- ㉒ややうつむいた顔で、右手をほほに軽く（そっと）あて、物思いにふける姿が神々しいオーラを放っている
- ㉓伝統文化が凝縮されている京都なので観光用アプリを使って名所旧跡巡りをして

応仁の乱

- ①権力を握ろうと企む大名
- ②羽振りよく大儲けしていた金持ちたちが独り占めしていた金銀財宝
- ③些細なことが大問題になるように
- ④こうした局面に
- ⑤上洛し、新しい将軍の地位にのしがらろうとした。
- ⑥飛ぶ鳥を落とす勢い

京の伝統工芸

- ①宮内庁御用達
- ②よろいかぶとに馬の鞍
- ③金糸や銀糸を入れて織った高級な絹織物ができ、それをぜいたくに使った着物やその上にまく帯などもある。
- ④暑さをしのぐ夏用の扇子
- ⑤あの平べったい団扇を畳んで小さくしようと思いついたものはだれもいなかった。
- ⑥職人技を駆使した工芸品を数えあげればきりが無い。
- ⑦境内の空き地で開かれる骨董市場
- ⑧出店（露店）や占いの館まであり、それこそ「門前市をなして」/客であふれている。
- ⑨かごにざる、キセルなどの竹細工、アシで作ったすだれにヒョウタンなど、天然素材を使った伝統工芸がところ狭しと並んでいる。
- ⑩やや高価なのが玉にきずだが、「安物買いの銭失い（安かろう悪かろう）」という言葉もあるので悩みの種である。
- ⑪過剰包装もなく、他の国の市場のような押し売りもない。

⑫つげの木で作った櫛とかんざし、そして耳かきを買ったところ、店のお姉さんが「おおきに、またおこしやす」と京言葉で答えてくれた。

尹東柱と京都

①敬虔なクリスチャン詩人であった尹東柱がその余りに短い生を終える前に青春を謳歌し、作品を書いたところが京都だったのだ。

②要注意人物として烙印を押され独立運動の疑いで逮捕された

③享年 27 歳で獄死した。

④目頭を熱くする理由

⑤法の網をくぐってわざわざ危険を冒して詩を書いた尹東柱

⑥醜く暗い現実の中にあっても、それから目をそらさず（見てみぬふりせず）、清らかで明るい心で立ち向かおうという意気込み（気概）が生徒の心に響くのである。

⑦ありのままの自分自身を表現したいという気持ちが共感したと考えられる。

韓国語で学ぶ日本⑤京都 単語表現帳 氏名

①官女たちの気をひく/切ない/②想像すらできぬ	
②困窮した生活から逃れる/田舎にこもる/厭世的	
③カゲロウ/はかない人生/驕れる者も久しからず	
③栄枯盛衰/退廃的/テーマが深く尽きない	
⑤百人一首 (40字前後の韓国語で説明せよ)	
⑥当たらずといえど遠からず/⑦風水最高場所	
⑦骨肉の争い/⑧天皇に謁見する/⑨シンボルカラー	
⑩地味/⑪電柱/石畳/あでやかだ/⑫ふっくらした顔	
⑫ほっそりした顔/襟足にまでおしろいを塗る	
⑫清楚でしとやかだ/撫子/⑬大枚はたき一席設ける	
⑭変身願望を満たす/⑮古みを帯びた美しさ	
⑯ピリオド/コンマ/⑰言わねば分かってもらえない	
⑱察し/⑲異なる意見/相手のメンツをつぶす	
⑳お茶漬 (40字前後の韓国語で説明せよ)	
㉑一席設ける/高嶺の花/愛嬌をふりまく	
㉒空気を読む/㉓それとなく顔をしかめる	
㉓変った人もいたものだ/㉔5W1H/タブー/	
㉕訳がわからぬ/皮肉に聞こえる/㉖戦乱に敗れる	
㉗天皇を島流しにする/天皇の首をすげかえる	

②⑥痛くもない腹を探られる/②⑦口は災いのもと	
②⑧故事成語/和して同ぜず/	
①④四捨五入/②カシャカシャ写真を撮る/金色に輝く	
③賛辞を惜しまぬ/国威発揚/④出入りする	
⑤思い切って決断する/⑥清水を飲もうと列に並ぶ	
⑦安産/⑧切っても切れぬ縁/	
⑨金を湯水のように使う/贅沢三昧だ	
⑩枯山水庭園 (30字前後の韓国語で説明せよ)	
⑪土足禁止/⑫袈裟/数珠/住職/ (靴) 一足	
⑬下駄箱にそろえて入れる/⑭自分に厳しい	
⑮人手が加わる/飛び石のように横切る/⑯ひっそり	
⑰悟る/⑱チャンバラ/時代劇/ロケ/スタジオ	
⑲養蚕/⑳機を織る/㉑信ぴょう性に乏しい	
⑲多かれ少なかれ/㉒カイコ/㉓瓜二つの姿形	
㉔ややうつむいた顔/ほほに軽くあてる/	
㉕物思いにふける/神々 ^{こうごう} しいオーラを放つ	
㉖凝縮/アプリ/名所旧跡めぐり/	
①権力を握ろうとたくらむ大名/ ②羽振りよく大儲けする	
④局面/⑤上洛する/將軍の地位にのし上がる	
⑥飛ぶ鳥を落とす勢い	

①宮内庁御用達/②よろい/かぶと/馬の鞍	
③金糸/絹織物をぜいたくに使う/帯をまく	
④暑さをしのぐ/⑤平たい団扇を畳み小さくする	
⑦空き地/骨董市場/⑧露店/占いの館/門前市を成す	
⑨かご/ざる/きせる/竹細工/アシ	
⑨すだれ/ひょうたん/所狭しと並ぶ/⑩玉にきず	
⑩安かろう悪かろう/⑪過剰包装/押し売り/	
⑫つげの木/櫛/かんざし/耳かき/京言葉でこたえる	
①敬虔な/謳歌する/②要注意人物/烙印を押される	
②独立運動の疑い/③享年/獄死/④目頭を熱くする	
⑤法の網をくぐる/危険を冒す/⑥醜く暗い現実	
⑥見て見ぬ振りする/立ち向かおうとする気概	
⑦ありのままの自分	